

中和田教会だより

カンボジア難民に 暖かい手を

主任司祭 宮下神父
本年も二月二十日(仮)水曜日から四旬節に入りました。毎年四旬節に行われる教会が定めた断食禁食は、いま愛の実行を重くみるようになりました。愛の募金行勇はあり余つてゐるものと差出すことではなく、自分自身の心の犠牲をとらなかつた本当の愛の実践をななければなりません。教皇様の四旬節のメッセージに「必要なのは心と心の交りの中で、私達がもつてゐるものを同じ社会に生かしてゐる最もかきりみられぬ仲間を、その時に人は人間としての尊厳を失ふことなく、人びとを救ふべき愛する者となす。その国を離れなければならぬ難民たちと互いに分かち合つて、私達を駆りたてる精神の更新をすべしとあります。またイエス様のみ言に「これのいさよ、貧しい人、飢えてゐる人、貧しい人、着物のない人」

号 昭和五十五年二月二十三日
戸塚区中田町三七一
中和田教会 広報委員会発行

びどの一人にしてくれたのは、このこと、私にしてくれたのである』と
(マタイ二十五章)
此の四旬節の向神の子として、私達一人一人は、献金によって愛を証しするようにつとめましよう。

●二月委員会報告(二月八日開催)

- 一 五十五年度の定例委員会は、毎月第一金曜日七時三十分より開催することに決まりました。
- 二 行事計画は、余裕をもつて提案検討し、事前に信者への周知徹底を計るよう留意する。
- 三 壮年会、婦人会、四月会との連携を密にし、特に四月会との連絡に留意する。以上の方針が決まりました。
- 四 年間行事予定について
 - 一 四旬節「黙想会」三月十六日(四旬節前日)
 - 二 御徳講「持ち寄りパーティー」四月六日

●補修整備について

- 一 壁面の補修
- 二 前庭の雨水処理、整備
- 三 婦人会だより
 - 二月の定例会は、沢山の出席により二月十七日(日)九時三十分に行われました。始めに会長より、委員会の報告があり、委員会の報告と重複する部分を省かせていただき、続いて「続々マニタス救済」の寄附金のお話しがありました。当婦人会としては、各個人ではせず、婦人会団体として、委員となり

- 会費は、バザーの売上金から二万円出費するに、皆様のご賛同を頂きました。
- 一 五月二十五日(日)に開催す
 - 二 各自の手作り寄附品(目録)を一人二点以上(価格にして1,000円以上)
 - 三 婦人会全体の協力を得て、エプロン、子供服(サマードレス等)、給食ナフキン(男子用も多量)、しん、袋物、お人形、毛糸類その他手軽にできる品物が、ぜひ、ご用意ください。係員までお申し出下さい。
 - 四 古着の交換、三月の定例会(黙想会)のため、二十三日(日)午後更され、その後、バザーの売上金とする。
 - 五 不要品の無料提供について、各家庭で、思い出、何れでも引き取られ、雑貨類、何れでも結構です。沢山の協力をお願いします。

お願い致します。
尚、婦人会の担当する食事、スナック、モズ店等については、三月定例会で皆様と一緒に計画したいと思っておりますので、多くの方の出席をお願い致します。

- 次の方々がバザーの係となり、ました。よろしくお願ひ致します。
- 「総務」 阿部映子、石井悠子
 - 「会計」 荒木穂子、福島久子
 - 「不用品」 竹田恭子、七浦恵子
 - 「洋服」 山下代子、鈴木矩子
 - 「手芸」 笠島真依恵、丸田綾子
 - 「食堂」 磯田昭代、山本照子
 - 小山利江

追記、編物の講習について

毎週九時のミサの後、行方事になり、初回の当日は、毛糸の室内で作り置き、その作品をバザーに出品したい

と考えています。
特物として、

- カズ針セウハ号 一本(並大用)
- カズ針四ノ五号 棒針六号 二本(中細用)
- 毛糸、中細五ノグラム(足差分です) 並大
- 石井記

四旬節の黙想会

四旬節前日(三月十六日) 日曜日
指導司祭 鎌倉雪の下教会
主任司祭 吉山神父様
九時三十分 始まり 共同告解 を行なう。

●お知らせ

十字架の道行
四旬節中の毎週金曜日午後七時半より、十字架の道行が行われます。

財務報告			建設会計 収支報告	
摘要	54年度 収支実績	55年度 収支予算	摘要	金額
収入			収入	
月定献金	1,806,550	1,850,000	返済積立金	1,976,060
ミナ献金	739,313	750,000	受取利息	264,937
特別献金	132,600		特別献金	330,000
ハガー収益	621,904	400,000	小計	(257,097)
補助金	600,000	600,000	前年度繰越金	5,701,736
その他	112,297		合計	8,272,733
計	(4,012,664)	(3,600,000)		
前期繰越	453,185	724,587		
合計	4,465,849	4,324,587	支出	
			教区返済金	1,000,000
			同上支払利息	225,000
			礼拝教会償還	1,930,000
			合計	3,155,000
支出			差引残高	5,117,733
祭儀行事費	205,787	310,000		
維持費	229,808	292,000		
人件費	2,040,000	2,185,000		
火災保険料	48,000	48,000		
福利厚生費	106,679	110,000		
通信事務費	91,347	100,000		
宣教費	377,137	218,000	55年度 建設借入金返済計画	
修繕費	17,608	400,000	収入	
消耗品費	26,266		返済積立金	2,077,267
備品費	108,110		前年度繰越金	5,117,733
			計	7,195,000
退職積立金	79,200	85,000		
修繕積立金	100,000	100,000	支出	
本部献金	304,000	312,000	教区返済金	7,000,000
雑費	7,320		同上支払利息	195,000
			計	7,195,000
予備費		164,587		
合計	3,741,262	4,324,587		
翌期繰越	724,587			

中和田教会だより

第44号

昭和五十五年四月二十六日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会広報委員会発行

イエズス様は

今あなたをそばに
居られます

主任司祭 宮下神父

ガリラヤ湖で一晩中働いても何もとれなかった弟子たちに、イエズス様は『舟の右の方に網をおろしなさい、そうすればこれら』と勧められました。
弟子たちは魚が一パイ網にかかったのに驚くと同時に岸に立って居るお方が主である気が付きました。
イエズス様はペトロが持つて来た魚を料理して皆朝食を食べなさいと云って弟子たちにパンと魚を与へられました。
そしてペトロに私の羊(信者)の世話をしなさいと三回仰せられ羊(信者)が食物を充分に得ることが出来るようにそのお世話をするように頼まれました。
イエズス様のお定めになった御聖体によって教会は信者が天国まで行けるようにお世話をいたします。

一つの練習

今感覚的に目には見えなくてもイエズス様が実際にあなたをそばに居られると想って下さい。——そしてイエズス様あなたは今ここに現存して居られることを信じますと申し上げて下さい。——イエズス様があるがまのあなたを愛し愛し入れて下さる事を信頼もって心に想って下さい。——イエズス様は思いを込めて、へり下ってあなたを見つめて居られます。——あなたへの無條件の愛をおなたの心にしみ込ませるようにして下さい。——キリストの愛のまなざしを眺め自分の心とキリストの心とが感応し合ふようにして下さい。——此のことはゆくり時間をかけて練習して下さい。練習によって上手になります。——主が聖体祭儀の中で、私たちと一致しながら私たちの身の浄化のお恵みを完全に受入れられるように努めましょう。

以上

祝洗礼・初聖体

左記の子供達が洗礼・初聖体を受けました。神の豊かなお恵みを祈りましょう。

● 洗礼・初聖体

ヨゼフ 星川 慎

● 初聖体

アロイジオ 武田 光信
ヨハネボスコ 横塚 教
マキシミアノコルベ 上野 仁人
フランシスコガベリオ 中町 典弘
フランシスコ 笠島 真佐章
マリヤ 田中 瑞穂

四月水戸貝会報告(四月十日開催)

● バザーの件(五月二十五日開催)
● 賞品についての詳細及び抽選券・招待状については委員長から報告された。出店等に關しては従来通り実施し詳細に當っては婦人会・壮年会の中で決める。

(一) 抽選券の発表日は四月二十七日より

● 寄付金一枚につき百円(二〇〇の枚)

(二) 賞品は一等の電気釜から五等の手立ペーパーまで多数

(三) 神父様海外ご出張の件

● 宮下神父様が五月六日(火)から五月二十九日(木)までイタリア・フランス・ポルトガルへ行かれます。
日程は五月六日(火)十三時に成田を出発され、五月二十九日(木)十時四十分着でお帰りになされます。
尚、神父様のご出張される間、飯野神父様がまゐります。この間の御ミサは午前九時(日曜日)だけに なります。

(四) 前庭排水溝工事について

● すでに壮年会例会(来る三月五日)の中でお話しされたが、委員会としては原案に賛成した。
尚、詳細については身面部会で検討して行く。

婦人会だより

● 四月例会は二十日九時ミサ後、多数の御出席の下に行われました。
この日は聖理学校の授業があまりありません。

たので十五分程遅れて開催しました。

● 初めにフラジールで救済活動をしてもらう。佐々木神父様からの(昨年未古着を送った事に対する)お礼の手紙が紹介され、それに關連して、ファミタスのエロンクの売上げ純益の報告の手紙が紹介されました。松達一人一人の小さな力も集まれば大きなものとなり他の人達の喜びとなつて居る事を考え、これからは小さな犠牲性を払っていきなさいと考えます。
● 神父様の海外ご出張に際し、餞別を差上げる事について話し合いました。その結果、会としてはまとめる、各個人で差上げる事になりましたので、皆さんご奮発下さるようお願い致します。

● バザーについて

● 当日の作業分担を決めるべく、皆さんのご希望をとりました。
● 当日お手伝いできる方は表を張り出してありますので、ご希望の欄に、記号下さい。また、おレジ飯を炊いて下さる方もお名前と量を記入下さい。
● バザー出品のメットは五月十一日(日)です。地区別にお頼みした御用品は地区係の方が責任をもって集めて、それぞれのお責任にお渡し下さい。
● 御寄附下さる手作り品、不用品もこの日までにお出し下さるようお願いいたします。

今年も古着の取扱いき致します。

● 衣替の折柄、不要になった衣類、くつ、おまきやなどありましたら、お持ち下さいませ。
● 奉仕日について

- (一) 五月十九日(月) 値段付け
- (二) 五月二十四日(土) 食堂の準備

● 詳細は連絡網でお知らせ致します。が、皆さん御協力下さいませ。頼みます。 以上

四旬節愛の献金

カンボジア難民救済の献金は左記の通りです。

献金箱(大人)	63,809円
献金箱(小供)	21,618円
合計	85,427円

● 愛の献金を併せて十三万円也を送金いたしました。昨年は十万円也を送金いたしました。今年も皆様の祈りと犠牲により、以上のような献金の出来ましたことを感謝いたします。
主任司祭